

第 17 回全国大会の研究発表・ポスターセッション・ワークショップ公募について

日本認知言語学会第 17 回全国大会の研究発表・ポスターセッション・ワークショップを公募いたします。公募日程は下記の通りです。（※ 今大会よりポスターセッションも同時に公募することになりました。）

| | |
|----------|------------------------------|
| 発表申し込み期間 | 2016 年 4 月 6 日(水)～5 月 6 日(金) |
| 採否通知 | 2016 年 6 月中旬 |
| 予稿集原稿締切 | 2016 年 7 月 22 日(金) (締切厳守) |
| 論文集原稿締切 | 2017 年 2 月 28 日(火) |

研究発表の時間は 35 分(発表 25 分、質疑応答 10 分)です。ワークショップの枠は 2 時間半から 3 時間程度の予定です。発表を希望される方は、研究発表・ポスターセッション・ワークショップの発表要旨を以下の要領で作成の上、ご応募下さい。言語学プロパーの研究のみならず、認知言語学に関わる様々な隣接分野の研究についても歓迎します。必要に応じて、関連分野の専門の方に査読を委託することを含めて対応しますので、ふるってご応募ください。

1. 応募資格

学会員であること。ただし、応募の時点までに入会手続きをとれば応募は可能です。共同研究者がいる場合やワークショップなど複数名で応募する場合は、ファーストオーサーまたは代表者が会員であれば応募可能です。

【注意】なお、発表内容は大会時点で未発表のものに限ります。（未発表の内容であっても、他学会の発表または研究雑誌等に応募中のもの、他学会で発表または研究雑誌等に掲載が予定されているものも重複して申し込むことはできません。）また、図表やデータを扱う場合は、出典や著作権に十分留意して下さい。以上、発表に関しては、研究倫理に反する行為が疑われないよう十分に注意して下さい。

大会時に配布する『予稿集』や発表内容に基づく翌年発行の『日本認知言語学会論文集』への掲載は「任意」ではありません。予稿集は「配布資料が参加者に行き渡るようにすること」、論文集は「研究成果が学会員に周知されること」を主な理由に刊行しています。この点をご理解いただき、応募くださいますようお願い申し上げます。

2. 提出方法【電子メールの場合】

応募者は、原則として電子メールにて発表内容の要旨を担当者に送信して下さい。

[A] 件名と本文

- ・ 電子メールの件名(subject)は、「研究発表申し込み」「ポスターセッション申し込み」「ワークショップ申し込み」のいずれかとする。
- ・ 電子メールの本文に、①「発表タイトル」②「登壇者全員の氏名と所属(ファーストオーサー(ワークショップに関しては代表者)に○印)」、および「ファーストオーサーの連絡先(住所・電話・メールアドレス)」をテキスト形式で書く。
- ・ ③研究発表申し込み者については、研究発表で不採択の場合、ポスターセッションで発表する意志の有無を記載する。
- ・ ④「日本認知言語学会奨励賞」に応募を希望する場合は「日本認知言語学会奨励賞に応募希望」と

記載し、合わせて、修士課程（博士前期課程）に2016年3月31日時点で在籍していた者は、その時点での大学院名と学年を、修士課程（博士前期課程）を2016年3月31日時点で修了していた者は、修了した大学院名と修了年月日を付記する（本大会では、2006年4月1日以降に修士課程（博士前期課程）を修了した者が有資格者である）。なお、受賞内定の段階で大学院在籍・修了の証明書等を提出してもらうことがある。

※ 発表の「要旨」は電子メール本文には書かず、PDFファイルで添付する。

【記載例】

【件名】 研究発表申し込み

【本文】

タイトル：「主観性と間主観性」

発表者氏名・所属：○平成太郎（◇△大学[院]）、佐藤花子（□◇大学大学院）、山田一郎（△□大学）

連絡先：住所・電話・メールアドレス

ポスターセッションでの発表の意志：有

学会奨励賞：応募希望

平成太郎（◇△大学 [院]・人間研究科・修士課程1年）

※なお所属の表記に関しては、大学院の「学生」か「教職員」かの別を明確にすること。

一般会員で大学院に教職員として所属している場合は、「○○大学大学院」、

学生会員で大学院に学生(研究生等を含む)として所属している場合は、「○○大学[院]」とする。

詳しくは「日本認知言語学会全国大会の応募に関するお知らせ」の「(5)所属の表示について」を参照。

[B] 「要旨」添付ファイル（PDF形式）

- ・「要旨」は、A4判で「タイトル」「本文」「主要参考文献」の順で作成する。分量は、研究発表、ポスターセッション、ワークショップいずれも、日本語の場合は2,000字、英語の場合は800語以内とする。ただし、この字数(語数)に参考文献は含まない。

※ 氏名や、応募者が特定されるような情報を記載しない。ファイルの「文書のプロパティ」の「作成者」情報も削除する。

3. 提出方法【普通郵便の場合】

電子メールを使われない方は、電子メールの場合に準じて、次の2種類の書類を作成し、封書で郵送して下さい。

[A] は1部、[B] は4部を送って下さい。

このほか、表面に住所と氏名を書いた返信用(受理通知用)の官製ハガキを1枚同封して下さい。

[A] A4判の紙1枚に、「研究発表申し込み」「ポスターセッション申し込み」「ワークショップ申し込み」のいずれかの表題を付ける。

続いて「発表タイトル」「登壇者全員の氏名と所属(ファーストオーサー(ワークショップに関しては代表者)に○印)」、および「登壇者(ファーストオーサーのみ)の連絡先(住所・電話・メールアドレス)」を書く。

次に、研究発表申し込み者については、研究発表で不採択の場合、ポスターセッションで発表する意志の

有無を記載する。また、「日本認知言語学会奨励賞」に応募を希望する場合は「日本認知言語学会奨励賞に応募希望」と記載し、合わせて、修士課程（博士前期課程）に2016年3月31日時点で在籍していた者は、その時点での大学院名と学年を、修士課程（博士前期課程）を2016年3月31日時点で修了していた者は、修了した大学院名と修了年月日を付記する（本大会では、2006年4月1日以降に修士課程（博士前期課程）を修了した者が有資格者である）。なお、受賞内定の段階で大学院在籍・修了の証明書等を提出してもらうことがある。

[B] A4判の紙に「要旨」を作成し、発表の「タイトル」「本文」「主要参考文献」の順に書く。

分量は、研究発表、ポスターセッション、ワークショップいずれも、日本語の場合は2,000字、英語の場合は800語以内とする。この字数(語数)に参考文献は含まない。

※ 氏名や、応募者が特定されるような情報を記載しない。

4. 英語による発表について

第17回大会では、英語による発表を推奨します。「英語による発表」では、会場での発表(質疑応答を含む)に際して英語のみを使用し、予稿集と論文集の原稿も英語で作成します。この形式での発表を希望される方は、申し込み時に「英語による発表」とお書き添え下さい。

5. 注意

一度受理された申し込みは、発表のタイトル(副題および記号類を含む。)や登壇者等の変更はできません。要旨を差し替えることもできません。研究発表・ポスターセッションまたはワークショップで発表された内容は、翌年発行の『日本認知言語学会論文集』に掲載されますが、その論文集に英語で執筆する場合は、申し込みのときの[B]の書類を英語で作成することが必要です。

6. 提出先

電子メールの場合は、jcla2016abstract[AT]gmail.comへ送ってください。普通郵便で送る場合の送り先は下記です。

〒464-8601
名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院国際言語文化研究科
鷺見幸美研究室内
日本認知言語学会（応募受付担当）

適切に受理されたものは、担当者から電子メールまたは普通郵便で連絡があります。

「応募要旨受理」の返信は迅速にいたします。1週間を過ぎても返信メール・返信ハガキが届かない場合にかぎり、お問い合わせいただくようお願いいたします。

応募受付担当者および事務局は選考には関与しておらず、採否に関する質問も受けかねますのでご了解下さい。

7. 提出期間

電子メールおよび通常郵便いずれも、2016年4月6日(水)～5月6日(金)（最終日までに必着厳守）。

8. 結果通知

査読委員会にて厳正に選考の上、応募者に対して6月中旬を目処に電子メールまたは普通郵便にて採否を連絡しますが、多少、通知が遅れる場合もあります。採択された方は、期限までに『予稿集』に掲載する原稿をご提出いただきますので、あらかじめご承知おき下さい。なお、プログラム編成は、全国大会実行委員会に一任いただくこととし、個別のご要望にはお応えできませんので、ご了承下さい。また、第17回大会より、不採択となったすべての応募者に不採択理由を開示することとなりました。